

日本の気候の特徴：気温，降水量，日照時間の統計値^注

年	気象要素	年間	冬季（12～2）	春季（3～5）	夏季（6～8）	秋季（9～11）
2011	気温	北日本から西日本にかけて平年並。沖縄・奄美では低かった。	西日本，沖縄・奄美では低かった。	全国的に低く，特に西日本，沖縄・奄美ではかなり低かった。	全国的に高かった。かなり高い時期もあり，変動が大きかった。	全国的に高かった。東・西日本，沖縄・奄美ではかなり高かった。
	降水量	北日本日本海側でかなり多く，東・西日本日本海側，西日本太平洋側が多かった。洲本では年降水量が過去最大となった。	12月終りから1月末にかけて，日本海側で大雪。	北日本・東日本の日本海側では多雨。	多くの地方で，梅雨入り・梅雨明けが，かなり早かった。	全国的に多く，北日本日本海側，西日本太平洋側ではかなり多かった。
	日照時間	沖縄・奄美ではかなり少なく，西日本では少なかった。与那国島，沖永良部島では過去最も少なかった。北・東日本日本海側では平年並。東日本太平洋側では多かった。	北日本太平洋側でかなり多かった。	北日本・東日本日本海側で寡照。沖縄・奄美では顕著な寡照。	7月に新潟・福島豪雨が発生した。	9月には台風12号と15号による記録的な豪雨となり，甚大な災害が発生した。
2012	気温	北日本から西日本にかけては，寒候期が低温傾向，暖候期が高温傾向で季節のメリハリがはっきりした年。年平均気温は平年並み。	北日本から西日本にかけて12，1，2月の月平均気温がすべて低かった。	沖縄，奄美で高かった。	北日本から西日本では暑夏となり，猛暑日となった所もあった。	北日本では，秋の平均気温の最も高い値を更新。9，10月は北・東日本を中心に高温，11月は東日本以西で低温。
	降水量	全国的に平年を上回ったところが多かった。7月11日から14日にかけて九州北部豪雨が発生した。	日本海側では「平成18年豪雪」に次ぐ積雪。	急速に発達した低気圧(4月)と竜巻(5月)により大きな被害。	西日本では多雨となり，たびたび大雨が発生した。沖縄・奄美では降水量がかなり多かった。	北日本日本海側では，秋の降水量がかなり多かった。
	日照時間	特に沖縄・奄美では年間日照時間がかかなり少なかった。	沖縄・奄美での冬の日照時間は1946年以降最も少なかった。	北日本太平洋側で日照時間がかかなり少なかった。	沖縄・奄美では日照時間がかかなり少なかった。	北日本太平洋側では，秋の日照時間の最も多い値を更新。
2013	気温	東日本，西日本，沖縄・奄美は高温。北日本，東日本，西日本は寒冬。全国で暑夏，8月に熱波。8月12日に江川崎（高知県四万十市）で日最高気温が41.0℃（歴代全国1位。）	北日本から西日本にかけて気温が低かった。	全国的に気温の変動が大きかった。	全国的に高温で，東・西日本，沖縄・奄美ではかなり高かった。	北・東日本で気温が高かった。
	降水量	北日本日本海側の冬の積雪量は多く，酸ヶ湯（青森市）で積雪深566cm。7月から10月にかけ，各地で記録的な豪雨。特に，島根県，山口県，秋田県，岩手県，京都府，滋賀県，福井県，大島（東京都）。	北日本から西日本にかけて降水量が多かった。北日本日本海側では所々で記録的な積雪。	西日本太平洋側で記録的に少なかった。	東日本太平洋側，沖縄・奄美ではかなり少なく，東日本日本海側と東北日本海側ではかなり多かった。	北日本から東日本にかけて降水量が多かった。
	日照時間	北日本は寡照。	北日本日本海側で少なく，東日本太平洋側では多かった。	東日本太平洋側と西日本では記録的に多かった。北日本日本海側では日照時間がかかなり少なかった。	東・西日本，沖縄・奄美ではかなり多かった。	東・西日本，沖縄・奄美で日照時間が多かった。

注：気象庁資料を抜粋して作成した。

日本の気候の特徴：気温、降水量、日照時間の統計値^注

年	気象要素	年間	冬季（12～2）	春季（3～5）	夏季（6～8）	秋季（9～11）
2014	気温	年平均気温は全国で平年並。西日本は2003年以來の冷夏。	東日本と沖縄・奄美では、冬の平均気温が低かった。	春の平均気温は、東・西日本で高く、沖縄・奄美で低かった。	夏の平均気温は、西日本で低かった一方、北日本、東日本、沖縄・奄美で高かった。	沖縄・奄美では、秋の平均気温がかなり高かった。北日本と東日本では、秋の平均気温が5年ぶりに平年並みだった。
	降水量	2月14日から16日にかけて、関東甲信越地方を中心に過去の最新積雪記録を大幅に上回る大雪。7月30日から8月26日にかけては、台風11号、12号の影響で四国地方をはじめ各地で大雨。広島市で大規模土砂災害。	日本海側では一部地域を除き冬の降雪量は少なかった。太平洋側では大雪に2度見舞われ、関東甲信越地方を中心に記録的な大雪。	東日本日本海側の月降水量は、3月としては1946年以降で最も多くなった。	北日本、西日本太平洋側では、夏の降水量がかなり多かった。	沖縄・奄美では少なかった。
	日照時間	西日本太平洋側で1946年の統計開始以来、8月における月間日照時間の最少記録を更新した。	東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。彦根で冬の日照時間の最大記録を更新した。	北日本から西日本にかけては、春の日照時間がかなり多かった。室蘭、宇都宮、舞鶴など17地点で日照時間の1位を更新。	西日本では、夏の日照時間がかなり少なかった。	北日本と東日本日本海側では、秋の日照時間がかなり多かった。
2015	気温	年平均気温は全国的に高く、北日本と沖縄・奄美ではかなり高い。ただし、西日本は2年連続の冷夏。	北日本は暖冬、東・西日本と沖縄・奄美は寒冬。	北日本では記録的な高温。	北日本と沖縄・奄美で暑夏。西日本は冷夏。	9月は東・西日本で、10月は北日本で低温、11月は全国的に高温。沖縄・奄美では気温がかなり高かった。
	降水量	年降水量は、西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側で多い。「平成27年9月関東・東北豪雨」が発生。	日本海側の降水量は少なく、北日本日本海側ではかなり少なかった。北日本では北海道を中心にたびたび暴風雨。	北日本の降水量は多かった。	西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側でかなり少なかった。	9月上旬と11月は太平洋側を中心に多雨。9月中下旬と10月は全国的に少雨。
	日照時間	年間日照時間は、北日本と東日本日本海側で多く、西日本で少なかった。	東・西日本日本海側と北日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側と西日本太平洋側で少なかった。	北・東日本と西日本日本海側で多照。	西日本太平洋側でかなり少なかった。	9月上旬と11月は太平洋側を中心に寡照。9月中下旬と10月は全国的に多照。
2016	気温	年平均気温は東日本以西でかなり高く、北日本で高かった。	全国的な暖冬。	全国的に顕著な高温。	全国的に暑夏で、特に沖縄・奄美では記録的な高温となった。	西日本と沖縄・奄美は記録的な高温となった。北日本は低温だった。
	降水量	8月に台風7号、11号、9号、10号が相次いで上陸し、大雨や暴風となった。特に北海道と岩手県では記録的な大雨となり、河川の反乱、浸水害、土砂災害などが発生した。	全国的に降水量が多く、沖縄・奄美では記録的な多雨となった。日本海側の降雪量はほぼ全国的に少なかった。	西日本太平洋側と沖縄・奄美の降水量は多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で少なかった。	北日本太平洋側は記録的な多雨となった。	西日本では降水量がかなり多かった。
	日照時間	秋は、西日本を中心に日照時間が少なかった。	沖縄・奄美でかなり少なく、北・西日本日本海側で少なかった。	北・西日本と東日本日本海側の日照時間は多かった。	ほぼ全国的に日照時間が多かった。	全国的に日照時間が少なく、西日本では記録的な寡照となった。

注：気象庁資料を抜粋して作成した。

日本の気候の特徴：気温，降水量，日照時間の統計値^注

年	気象要素	年間	冬季（12～2）	春季（3～5）	夏季（6～8）	秋季（9～11）
2017	気温	年平均気温は、沖縄・奄美でかなり高かった。	全国的に暖冬。	北・東・西日本で気温が高かった。	気温は、沖縄・奄美でかなり高く、東・西日本で高かった。	沖縄・奄美ではかなり高かった。北日本では低かった。
	降水量	年降水量は、北・東日本日本海側と西日本太平洋側が多かった。沖縄・奄美では少なかった。	西日本日本海側は、1月中旬～下旬と2月上旬後半～中旬前半で大雪となった。	北・東・西日本で降水量が少なかった。	降水量は、北・東日本日本海側で多く、東日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。「平成29年7月九州北部豪雨」が発生した。	東日本太平洋側と西日本太平洋側でかなり多く、北日本と東日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。
	日照時間	年間日照時間は、東日本太平洋側と西日本日本海側でかなり多く、北日本と東日本日本海側、西日本太平洋側で多かった。	東日本太平洋側は、日照時間がかなり多かった。	北・東・西日本で日照時間が多かった。	東日本日本海側、西日本と沖縄・奄美で多かった。	西日本でかなり少なく、沖縄・奄美では少なかった。
2018	気温	年平均気温は、東日本でかなり高く、北・西日本と沖縄・奄美が高かった。横浜等25地点で年平均気温の最高値を更新し、福島等4地点では年平均気温の最高値と同じ。	全国的に暖冬。	全国的にかなり高く、東日本では記録的な高温となった。	東・西日本で、記録的な高温となった。	北・東日本で高かった。
	降水量	北日本日本海側、西日本太平洋側でかなり多く、北日本太平洋側、東・西日本日本海側、沖縄・奄美で多かった。神戸、宿毛で年降水量の最多値を更新した。	日本海側の降水量は西日本でかなり多く、東日本でも多かった。	北・東・西日本で多く、沖縄・奄美でかなり少なかった。	北日本日本海側と西日本太平洋側および沖縄・奄美でかなり多かった。「平成30年7月豪雨」など、全国各地で大雨となった。	東日本から沖縄・奄美にかけて多かった。
	日照時間	年間日照時間は、東・西日本、沖縄・奄美でかなり多かった。諏訪など4地点で年間日照時間の最高値を更新した。	東日本太平洋側では日照時間がかなり多かった。	東日本太平洋側と西日本、沖縄・奄美でかなり多かった。	東日本と西日本日本海側でかなり多く、西日本太平洋側で多かった。一方、北日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。	東日本と西日本日本海側で少なく、北日本と沖縄・奄美で多かった。
2019	気温	年平均気温は、全国的にかなり高かった。年平均気温の平年差が、秋田、御前崎、岐阜など8地点で最高値を上回り、10地点で同じとなった。	東日本以西では冬の平均気温がかなり高く、特に沖縄・奄美は記録的な暖冬となった。	北・西日本、沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。	北・東日本、沖縄・奄美は高かった。	全国的に気温が高く、東・西日本ではかなり高かった。
	降水量	沖縄・奄美でかなり多く、東日本太平洋側で多かった。三宅島、館山の2地点で年降水量の平年比が最大値を上回った。一方、北日本日本海側ではかなり少なく、稚内と倶知安の2地点で年降水量の平年比が最小値を下回った。	北・東・西日本日本海側の降雪量はかなり少なく、西日本日本海側は記録的な少雪となった。降水量は北・東日本で少なく、沖縄・奄美で多かった。	沖縄・奄美では多く、北・西日本で少なかった。	西日本を中心にたびたび大雨となった。沖縄・奄美ではかなり多く、東日本太平洋側と西日本は多かった。	台風等の影響で各地で大雨や大荒れとなった。北・東日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。
	日照時間	北日本、東日本日本海側でかなり多く、東日本太平洋側、西日本日本海側で多かった。根室、秋田、新庄の3地点で年間日照時間の平年比が最大値を上回った。	西日本太平洋側でかなり少なく、東日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。一方、北日本太平洋側は多かった。	北・東・西日本でかなり多かった。	沖縄・奄美はかなり少なく、東日本太平洋側と西日本は少なかった。	北・東・西日本で多かった。

注：気象庁資料を抜粋して作成した。

日本の気候の特徴：気温，降水量，日照時間の統計値^注

年	気象要素	年間	冬季（12～2）	春季（3～5）	夏季（6～8）	秋季（9～11）
2020	気温	年平均気温は全国的にかなり高かった。仙台、富山、奈良等の20地点で年平均気温の最高値を更新し、26地点で最高値と同じであった。	東・西日本で記録的な暖冬となった。	北日本でかなり高く、東・西日本で高かった。	全国的に高く、東日本と沖縄・奄美ではかなり高かった。	北日本と沖縄・奄美ではかなり高く、東日本で高かった。
	降水量	西日本日本海側でかなり多く、北日本日本海側、東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で多かった。佐賀で年降水量の最大値を更新した。	降雪量は全国的にかなり少なく、北・東日本日本海側で記録的な少雪となった。降水量は西日本日本海側でかなり多かった。	北日本と沖縄・奄美で多かった。	「令和2年7月豪雨」など、全国各地で大雨が発生した。	西日本太平洋側で多く、北日本太平洋側、東日本日本海側、沖縄・奄美で少なかった。
	日照時間	東日本太平洋側、西日本で多かった。一方、北日本太平洋側で少なかった。	東日本太平洋側でかなり少なかった。	東日本太平洋側と西日本でかなり多かった。	東日本日本海側と沖縄・奄美では少なかった。	北日本で少なく、東・西日本日本海側で多かった。

注：気象庁資料を抜粋して作成した。